

『実務経験から伝える現場のDX』

中小企業の未来を切り拓く！DXで変わる業務効率と働き方改革
～ 現場で使えるDXツール「kintone」と「Bカート」導入事例を徹底解説します ～

講師 **カラビナテクノロジー(株) ディレクター 丸山 智大 氏**

〔2025年2月(株)ソトパコ※ 代表取締役兼業務統括ディレクターに就任予定。〕

※(株)ソトパコ カラビナテクノロジー(株)のグループ会社として2025年2月に創業予定。

カラビナテクノロジー株式会社の企業概要

アプリやシステム開発を通じて企業の課題解決と成長支援を行う、福岡市中央区渡辺通に本社を置くIT企業です。2021年4月には、セントシティ7階に「カラビナ北九州オフィス」を開設し、地元企業や自治体と連携しながら、九州北部のDX推進をサポートしています。



大学卒業後、繊維商社にて営業職。その後、2021年にカラビナテクノロジー(株)にディレクター職として転職。実績として、(株)豊洲漁商産直市場の電話注文による業務効率の低下やヒューマンエラーといった課題を、「kintone」「Bカート」を導入し、iPadを活用したシステムリプレイスを実施して、電話回線の混雑解消や業務効率化、エラー削減を実現。その効果として、育休取得者が出るなど働き方改革も進展し、取引先へのサポートを通じて、DX推進と取引先との関係強化にも成功している。

こうしたノウハウを活かし、カラビナテクノロジー(株)のグループ会社として、2025年2月に(株)ソトパコを創業する予定。

【講演内容】

1. 導入:DX 推進の必要性について

- ・中小企業や伝統産業におけるDXの意義
- ・DXがビジネス効率化や働き方改革に与える影響
- ・業界特有の課題へのアプローチの重要性

2. 事例:[実案件から]卸売市場の水産受注システム(株式会社豊洲漁商産直市場)を紹介します。

- 【課題の背景】
- ・電話注文や紙作業による非効率性とヒューマンエラー
 - ・古いシステムや業界特有の業務がDX推進を妨げていた状況
- 【解決策と成果】
- ・「kintone」や「Bカート」の導入で在庫・受注管理をデジタル化
 - ・iPad活用による現場業務の効率化
 - ・成果として、機会損失の削減、エラー低減、働き方改革の実現

3. DXの実現に必要な視点とは

- ・導入時の課題とその克服方法
- ・中小企業がDXを進める際のポイント(予算配分、現場教育、ITパートナー選び)
- ・DX推進による未来の可能性(新規事業、働き方の変化)

日時/令和7年2月19日(水) 14:00~15:30

会場/北九州市立商工貿易会館 5階 501会議室(〒802-0082北九州市小倉北区古船場町1-35)

受講料/無料 定員/40名(先着順)

申込方法/令和7年2月12日(水)までに下記の参加申込書にご記入の上、FAX 送信していただくか、又はeメールにて必要事項を送信して下さい。

参加申込書

FAX 093-531-0399

企業名		担当者	
電話		FAX	
e-mail			
参加者氏名		役職	

申込み/お問合せ先 (一社)北九州中小企業団体連合会

TEL 093-531-0127 FAX 093-531-0399 e-mail:info@hokuchu.or.jp